

日光国立公園の沿革と概要

1. 日光国立公園の沿革と公園計画変更の経緯

昭和9年	12月4日	日光国立公園指定(日光、尾瀬、奥鬼怒)
昭和13年	5月13日	特別地域の指定
昭和25年	9月22日	那須甲子・塩原地域の区域拡張
昭和28年	12月22日	特別保護地区の指定
昭和32年	4月5日	那須地域の区域変更
昭和32年	7月8日	区域拡張(旧皇室用地)
昭和60年	9月5日	那須甲子・塩原地域の公園区域及び公園計画の再検討
平成4年	7月14日	那須甲子・塩原地域の公園計画の変更
平成9年	9月18日	日光地域の公園区域及び公園計画の再検討
平成11年	7月30日	那須甲子・塩原地域の公園計画の変更

2. 日光国立公園各地域の概要

(日光地域)

日光国立公園の最高峰である白根山(2,578m)をはじめ、男体山、太郎山、女峰山、皇海山等の山々が連なり、その間に戦場ヶ原、小田代ヶ原等の湿原、草原や中禅寺湖、湯ノ湖等の湖沼群、華厳の滝、湯滝等の瀑布・溪谷が見られる。

これらの自然環境に加え、東照宮、二荒山神社、輪王寺等の歴史的建築物も多く、周囲の杉の大径木郡とあいまって独特の景観を形成している。

(那須甲子・塩原地域)

那須甲子地域は、茶臼岳を中心とする那須連山を脊梁として緩やかな高原を形成する地域で、阿武隈川、黒川、余笹川等の浸食により変化に富む地形を成している。塩原地域は、高原火山群を中心として、著名な温泉が各所に存在する。

(尾瀬地域)

尾瀬地域は、日光国立公園の西端に位置し、尾瀬沼、尾瀬ヶ原を含む地域で、1千年の時に育まれた原生的自然を有する日本でも屈指の景観地。

3. 公園面積等

(1) 地種区分別(単位:ha)

平成13年3月31日現在

特保	第1種	第2種	第3種	小計	普通	合計
9,944 (7.1%)	8,700 (6.2%)	44,029 (31.4%)	12,296 (8.8%)	74,969 (53.5%)	65,052 (46.5%)	140,021 (100.0%)
参考:全国立公園平均 (13.1%)	(11.7%)	(23.1%)	(23.3%)	(71.3%)	(28.7%)	(100.0%)

(2) 土地所有別(単位:ha)

平成13年3月31日現在

国有地	公有地	民有地	合計
86,785 (62.0%)	4,754 (3.4%)	48,482 (34.6%)	140,021 (100.0%)
参考:全国立公園平均 (61.6%)	(12.6%)	(25.2%)	所有区分不明 0.6% (100.0%)

(3) 県別(単位:ha)

平成13年3月31日現在

福島県	栃木県	群馬県	新潟県	合計
13,651 (9.7%)	103,479 (73.9%)	21,671 (15.5%)	1,220 (0.9%)	140,021 (100.0%)

* 栃木県区域の国有林及び保安林との重複割合(%)

	特別保護地区	特別地域	普通地域	合計
国有林	81.8	67.1	74.3	71.0
保安林	100	80.7	72.6	76.6

4. 関係市町村(4市6町5村)

福島県:南会津郡(下郷町,檜枝岐村),西白河郡(西郷村)

栃木県:日光市,今市市,矢板市,黒磯市,上都賀郡(足尾町),塩谷郡(栗山村,藤原町,塩谷町),那須郡(那須町,塩原町)

群馬県:利根郡(片品村)

新潟県:北魚沼郡(湯之谷村)